

教科	国語	科目	文学国語	単位数	1	履修学年	2	学科・コース	普通科文系		
教科書	精選 文学国語			副教材等					担当者	西山 五十嵐	
1. 科目の目標				2. 学習の進め方や留意点				3. 評価の観点と函中コンピテンシー			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				(1)予習 ①新単元に入る時は本文を全文読み、難解な語句について意味調べをし筆者独特な表現の仕方と効果を整理しておく。 ②主人公のおかれている状況から、その後の心情変化の状況とそのきっかけをまとめ、初読の感想を整理しておく。 (2)授業 ①登場人物の作品中での位置や、心情変化の場面を見極め、筆者の意図を理解しながら、自分にあてはめた追体験を通して未知の自分を知ること目標にする。 ②発問や感想は、自分の考えをまとめ、他者の意見や解答例を理解し、考察を深めていく。 (3)復習 ①登場人物の心情変化を通して筆者が述べようとしたことを考え出し、その視点に対する意見を 300 字程度でまとめる。 ②シラバスを用いて、学習内容の項目ごとに達成状況を確認し、不十分な部分を課題ワークなどを通して再確認する。					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
								傾聴力	○		○
								思考力	○	○	
								協働力			○
								先見力		○	

4. 学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ～ 6 上 旬	【作品への多面的な視点】 社会 1. 「走れメロス」(差込教材) 2. 「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」 3. 「詩はいつでも近いところにある」 4. 太宰治『故郷』(差込教材)		○言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解できる。	○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。	○進んで言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の種類を踏まえて内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。
			○人間、社会、自然などに対する物の見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。	○作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方の深化ができる。	
6 ～ 9 上 旬	【作品テーマの多様な表現方法】 死 1. 「高瀬舟」(差込教材) 2. 「ひよこの眼」 3. 森鷗外『洪江拙斎』(差込教材)		○言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解できる。	○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。	○進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。
			○文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。	○文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察することができる。	
9 ～ 11	【古典作品の現代化】 生 1. 「山月記」 2. 「ありとぎりぎりす」 3. 中島敦『弟子』(差込教材)		○文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。	○語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することができる。	○進んで文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について体系的に理解し、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。
			○文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めることができる。	○読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫できる。	
12 ～ 2	【戯曲の言葉】 戦争 1. 「戯曲の中の『対話』」 2. 「父と暮らせば」(差込教材) 3. 井伏鱒二『黒い雨』(差込教材) 4. 大岡昇平『俘虜記』(差込教材)		○情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。	○進んで文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深め、文章の種類を踏まえて内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。
			○文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。	○作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。	
	●後期期末(学年末) 考査	1	【評価方法】 多様な表現方法によるも	【評価方法】 台詞だけの表現による工夫や	【評価方法】 作品の意図や狙いを理解

			のの感じ方や捉え方の違いを理解しているか。	効果を捉え、現代作品についての考察を深め、発想豊かな創作をしているか。	しようとし、自分の意見を正確に伝え、他者の考えをくみ取ろうとしているか。
3	【夏目漱石を読む】	1	○一年間のまとめ	○活動の振り返り	○次年度への目標設定
	合計	2 7			